

長門町から東本町へ

杉並区 山岸澄子（東本町出身）

昭和五年四月、私が小学校に入る時父から「ここは長門町でなく東本町二丁目に変わったんだよ」と言われました。

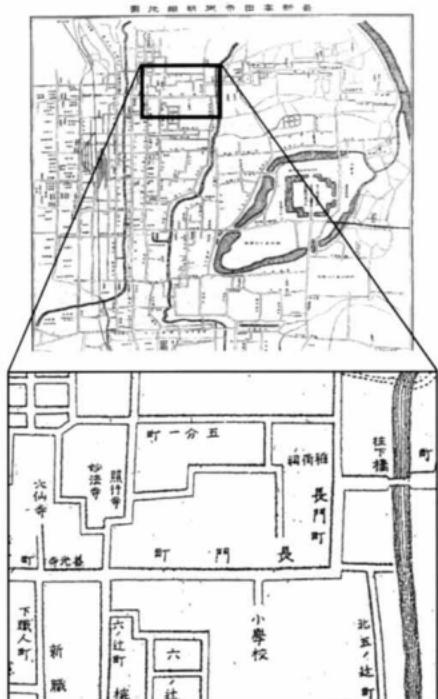
のこととて高田市の町名が全部変わるもの分かりませんでしたし、難しい名前を覚えなければ一生懸命でした。

でも、中殿町（西城町二丁目）の叔母さん、呉服町（本町三丁目）のおじさん、家からは少し遠いけれど小学校の頃よく通つたお馬出し（本町二丁目）の歯医者さんなど、古い名前の方が頭に残っていました。その他今でも頭に浮かぶのは中屋敷（東本町三丁目）、鍋屋町（東本町五丁目）、下小町（本町六丁目）、碗屋町（本町五丁目）と家から割に近い所、又遠足でよく通つた陀羅尼（北本町二丁目）、大手町小学校も岡島町（大手町）にあったので岡島小学校と言つていましたね。こんな事を言つても昔の名前を懐か

しんで下さる方は七十歳以上の方でしょう。

私が嫁いだ山岸の家は横春日町（南本町三丁目）から尾張町（南城町一丁目）へ大正時代に越したのでしょうか何時までも「尾張町の山岸」で通っていました。私は尾張町に嫁きましたが、主人は東京の役所勤めでしたから、すぐ東京へ移りました。その後疎開で高田へ帰り終戦は高田で迎えましたが、又東京へ戻り五十年ほど前から現在の杉並に住んでおります。

「年をとつたら高田に住みたいな」と言っていた主人も晩年にはその気力もなくなり、高田ではなく、あの世へ行つてからもう三年になります。私も高田を懐かしみつゝ終生この地で暮らすことになりそうです。



クラス会旅行 右から二人目が山岸さん